

医療安全教育セミナー2020年度冬期

(日本語社会人教育プログラム)

---医療事故の原因分析の方法と医療事故調査の進め方

事前配布資料

期 間: 2020年8月24日(月)~26日(水)

会 場:

~~東京大学医学部医学部医学教育研究棟13階第6+7セミナー室~~
インターネット講演会 (会場は来場いただけません)

主 催:

国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.office01@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(参加者への注意)

- 1) テキストは電子媒体として講演会の数日前に電子メールにてお届けします。
- 2) 受講修了証および領収書は講演会後に郵送します。

通信設定開始時間:

2020年8月24日(月)午前8時

2020年8月25日(火)午前8時30分

2020年8月26日(水)午前8時30分

課題実習でグループ分けをする場合は、課題が開始したら、事前に振り分けられたグループ番号の ZOOM 枠に、入ってください。

本プログラムで使用した資料は知的財産保護法の対象です。

(対象者) 国際医療リスクマネジメント学会会員、日本医療安全学会会員、医療施設経営者、総括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他の医療従事者。

(1) 安全対策費の診療報酬を申請予定の医療機関の方へ

本プログラムは「医療安全対策対策加算1」ならびに「医療安全対策対策加算2」における研修会に該当します。

- 1) 本プログラムは、厚生労働省の診療報酬改定による「医療安全対策」として診療報酬申請に加算する際に、加算の対象となる2020年度の研修教科内容(年間40時間以上)の1部にもなります。この場合は、医療安全基礎講座(2020年6月24日～28日)ないし医療安全教育セミナー実践編(2020年9月17日～19日の3日間)と合わせて申請することをお勧めします。

医療安全基礎講座(2020年6月24-26日の3日間)ないし医療安全教育セミナー(2020年9月17日～19日の3日間)受講者の場合: 本プログラムと合わせて合計40時間となります。

上記の医療安全教育セミナーと医療安全基礎講座のいずれとも未受講の方:

医療安全基礎講座2021年6月の3日間分)ないし医療安全教育セミナー2021年実践(2021年秋の3日間分)と合わせて申請ください。

加算申請の際にはプログラムと受講証を添える必要があります。

- 2) 平成22年度診療報酬改定(平成22年告示第69号)により、専従医療安全管理者以外に、専任医療安全管理者が医療安全対策費の対象となります。(厚生労働省説明資料 平成22年3月5日)
(専従の医療安全管理者) 医療安全管理業務のみに特化する。
(専任の医療安全管理者) 主に医療安全管理業務に従事し、他の業務との兼任が可能。
- 3) 上記で厚生労働省通知にいう「専従/専任の医療安全管理者」とは、医師、看護師または薬剤師などの医療有資格者であり、事務職員は含まれません。

- (2) 本プログラムは、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度ならびに学会認定「高度医薬品安全管理者」資格制度での必須科目の一部ともなります。**

演習は小グループ(6名/グループ)により行います。
各グループにはファシリテーターが巡回します。

プログラム

(第1日目) 2020年8月24日(月) 午前10時～午後6時

事故調査の導入

ネット接続開始 9:00

10:00 開会

10:00-10:50 (説明) 医療事故の原因とその探求方法

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長)

11:00～12:00 (講義 I) 院長から見た医療事故調査の進め方

許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター・センター長、元東大病院教授)

13:00-15:20 (ガイダンス・演習 I) 実習の進め方

新村 美佐香 (横浜メディカルグループ医療安全推進部部長、他)

(内容) 重大医療事故の報告事例と医療事故発生後の関係者への事実確認・ヒアリングの方法を含む。

15:30～16:00 (講義 II) 事故調査結果から事故予防システムへ改善する方法

小松原 明哲 (早稲田大学 理工学術院経営システム工科教授)

16:10～18:00 (講義 III) 医療事故調査報告制度に対する事故調査方法の進め方

―― 臨床医と弁護士の立場から

大磯 義一郎 (国立大学法人浜松医科大学医学部医療法「教授」、
日本医科大学医療管理学教授、
帝京大学医療情報システム研究センター教授)

18:00 第1日目閉会

(第2日目) 2020年8月25日(火) 午前9時～午後6時

根本原因分析(RCA)と設計故障モード(FMEA)の演習

ネット接続開始 8:30

9:00～13:00 **(ガイダンス・演習Ⅱ) 根本原因分析法 (RCA)**

新村 美佐香 (横浜メディカルグループ医療安全推進部部長、他)

(内容) 実際に発生したミスのシステム内部の原因を探索し、組織としての改善策を見出す RCA の方法を説明し、RCA グループ実習を行う。

14:00～15:50 **(ガイダンス・演習Ⅲ) 設計故障モード影響解析 (FMEA)**

清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、前東大病院薬剤部)

(内容) 事故を予測する FMEA の方法を少人数グループで修得する。

16:10～18:00 (講義Ⅳ) **健康リソースマネジメント ―新しいヒューマンファクターの形**

石橋 明 (安全マネジメント研究所所長)

18:00 第2日目閉会

(第3日目) 2020年8月26日(水) 午前9時～午後4時

ネット接続開始 8:30

9:00～12:00 (ガイダンス・演習 IV) 医療事件事例に対する事故調査の模擬実習

大原 志歩 (神奈川県済生会横浜市東部病院 TQMセンター医療安全管理室)

(内容) 医療事故の事例をサンプルとして、事故調査を小グループで実施する。

13:00～14:30 (講義 V) 事故調査報告書作成のポイント

大原 志歩 (同上)

14:40～16:00 全体討論会

座長: 新村 美佐香 (横浜メディカルグループ医療安全推進部部長、他)

(内容) 以上2種類の演習を通じて、演習参加者自身による討論会を行います。

16:00 全体閉会